

新課程全面実施

新課程で

生徒の

「主体性」を育む

2013年度の1年生から、いよいよ新課程が全面実施となった。そこで目指すのは生徒に生きる力を育むことであり、そのためには、主体的に学習に取り組む態度を養うこと、すなわち「主体性」の育成が必要だとうたわれている。新課程でどのような指導が、生徒の主体性を育むのか。現場の教師へのインタビューを通して考えていく。

2013年度も『VIEW21』は生徒の「主体性」の育成について問い続けていきます

2012年度の弊誌では、8月号から4号連続で、環境変化に立ち向かうために必要な力の土台として「主体性」を取り上げ、高校教育における主体性を育む指導について考えました。大学生や社会人、先生方へのインタビューを通じて感じたのは、先のないない社会を生き抜く、生き残るという排他的な観点で主体性を捉えるのではなく、他者とのかわりの中で得られる多様な価値観・考え方を基に、自ら考え、判断し、他者と共に生きていこうとする姿勢こそが、これからの社会で求められる主体性なのではないかということです。この主体性をいかに育むかは、4号の特集だけで答えが得られるものではありません。13年度も、「グローバル化」「デジタル化」を始めとするさまざまな環境変化を切り口にしながら、生徒の主体性を育む指導について、問い続けていきたいと思っています。

『VIEW21』編集部 柏木崇

2012年度8～2月号で見てきた、生徒の主体性を育む指導のキーワード

試行錯誤・失敗経験

社会貢献意識の芽生え・向上

デジタル機器の活用

教師と生徒、生徒同士の対話

本号のテーマ

新課程における、各教科での
生徒の主体性を育む指導とは

主体性育成に生かせる新課程の3つのポイント

1. 言語活動
 2. 活用重視の学習・探究学習
 3. 知識・技能の習得、定着
- 【現状把握 P.6～9】

各教科における指導の観点



国語 [P.10～12]

言語活動を通して、主体的な進路選択にもつながる多角的な視点を身に付けさせる
群馬県立太田女子高校 中野憲一



地理歴史科・公民科 [P.12～13]

世界史と社会とのつながりを意識させることで、主体的な学習態度を引き出す
鹿児島県立甲南高校 黒木 誠



数学 [P.14～15]

課題学習やデータの分析などで身近なテーマを取り上げ、数学への興味を喚起
大阪府・私立大阪学芸中等教育学校 良本完爾



理科 [P.16～18]

知識を体系的に習得させた上で実験に取り組みせ、生徒の主体性や創造性を引き出す
北海道札幌平岸高校 山崎恒輝



英語 [P.18～19]

授業を、「英語が使えた」という成功体験を積み重ねるコミュニケーションの場にする
愛知県立一宮高校 伊藤 智



学校運営 [P.20～21]

新課程の今こそ求められる教師の主体性と教師間の連携
青森県立弘前高校教頭 奈良昌孝